

1 共通項目

基本目標 たくましく豊かな心を持つ青少年の育成

項目	重点目標及び取組内容	評価	分析（及び改善策）
心の豊かさ と自ら学ぶ力を育てる 学校教育の実現	1 豊かな心の育成 (1) いじめへの対応 ・いじめは絶対に許さないという姿勢 ・未然防止、早期発見、早期対応	3. 5 (3.3) (+2)	○ いじめ発生時の対応については、全職員で協力する体制はできている。 ○ 未然防止に向け、確実な連絡体制の構築と迅速な対応に一層力を入れていく必要がある。 ○ 不登校生徒については、各学級担任を中心に当該学年で組織的に対応し、外部機関との連携も図っている。 ○ 学校が楽しいと感じる生徒が比較的多い。
	(2) 不登校への学校 ・なかなか学校へ足が向かない生徒へのきめ細かな対応	3. 2 (妥当)	
	(3) 通いたくなる学校 ・学校が楽しい	3. 4 (妥当)	
	2 基礎学力の充実 (1) 分かる授業 ・学校の授業は分かりやすい	3. 2 (妥当)	○ 教師は「分かる授業」づくりに励んでおり、生徒も実感している。 ○ 今後も「めあての明確化」と「書く活動」の更なる充実を図りたい。 ○ 家庭学習の習慣化については、生徒と保護者間で、捉え方の差が大きい。
	(2) 家庭学習の習慣化 ・家庭学習に取り組む習慣ができている	3. 2 (妥当)	
	3 健康安全教育の推進 (1) 健康安全及び体力向上の指導 ・健康安全面についての指導 ・体力向上についての指導	3. 4 (3.3) (+1)	○ 体力向上に継続して取り組むとともに健康面の指導の充実を図る。 ○ 部活動については、練習時間や指導の在り方等、全体的に改善していく必要がある。
	(2) 部活動の充実 ・部活動の内容は充実し、活動時間も適正	3. 1 (妥当)	
	4 特別支援教育 (1) 一人ひとりのニーズに応じた支援 ・配慮を要する生徒へきめ細かな対応がなされている	3. 1 (妥当)	○ 本町重点施策の一つである。現在3名の特別支援学級生徒は、交流学級と積極的な関わりをもっている。また家庭との連携も密に取っている。 ○ 保健室や学習室で、教室へ入ることのできない生徒を支援している。 ○ 合理的配慮に係る各要望について取りまとめ、個別に対応している。
	(2) 学校生活を送りやすい配慮 ・合理的配慮が適切になされている	3. 1 (妥当)	
	5 国際化への対応 (1) 国際的な話題を提供し、国際感覚を養っている	2. 7 (妥当)	○ 各教科・領域間の関連を明確にし、これを意識した取組の充実を図っていく必要がある。
	6 教育環境の整備 (1) 電子黒板等の教育機器 ・電子黒板やタブレット等の機器が充実し、授業で活用されている	3. 4 (3.3) (+1)	○ 電子黒板に加え、昨年度導入されたiPadの活用が図られている。 ○ 学力向上に向けた活用のあり方について、今後も研究を深め、一層の有効活用に努める。
	(2) 校内の整理整頓 ・清掃が行きとどき、掲示物も工夫されている	3. 3 (妥当)	
	7 教職員の資質向上 (1) 指導力の向上 ・学力向上に向け、熱心に取り組んでいる ・熱意をもって、教育活動に取り組んでいる	3. 2 (妥当)	○ 授業力の向上と個別志 s 道の充実に努めている。 ○ SC、心の相談員、支援員との連携に加え、今年度から通級指導教室担当の職員の協力も得ながら、生徒への対応に当たっている。
	(2) 生徒への対応 ・生徒の悩みや相談に適切に応じている	3. 1 (妥当)	